

2025年3月27日

各位

会社名 株式会社倉元製作所
代表者名 代表取締役社長 渡邊敏行
(コード番号 5216 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 小峰 衛
電話番号 0228 - 32 - 5111

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、本日、東北財務局に提出いたしました2024年12月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

当社は、当事業年度において、2024年11月1日付けの株式交換により連結子会社となった株式会社アイウィズロボティクスの子会社化の連結手続に関する決算財務報告プロセスにおいて、監査人の指摘により、当社の連結子会社(株式会社アイウィズロボティクス)において、ソフトウェアの開発費として、①良品稼働条件付きのため良品として稼働しない場合は返金できるとの外注先との合意があり開発が未了であったこと、②販売目的ではなく自社利用のソフトウェアで外部購入したものであること、の理由から、貸借対照表資産の部に計上しておりました、前渡金20百万円、仮払金45百万円につきまして、ソフトウェアに関する会計基準を検討した結果、当期の費用として計上すべきことが判明し、2025年3月4日付で「(訂正・数値データ訂正)「2024年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正のお知らせ」を開示する事態が生じました。

このため、当社の決算・財務報告プロセスは、さらなる改善が必要であると判断し、開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。

2. 事業年度末までには是正できなかった理由

当該重要な不備の判明が当事業年度末日後になったためです。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を認識しており、適正な管理体制を整えるべく、2025年4月から適時・適切に監査法人対応できるよう、監査法人出身の当社社員を子会社常駐とし、子会社の決算・財務報告プロセス改善に対する指導・管理を適時・適切に行い、当社グループの連結決算管理体制を強化して参る所存であります。

4. 連結財務諸表及び財務諸表に与える影響

上記開示すべき重要な不備に起因する必要な修正事項は、すべて連結財務諸表に反映しております。

5. 連結財務諸表及び財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以上